

令和 2 年度予算主要事業の概要 (事業別説明資料)

環境水道部



目 次

生物多様性の保全	1
ごみ不法投棄対策の強化	2
ごみ減量化・リサイクルの推進	3
子育て・介護世帯等に対するおむつ用ごみ袋の支援	4
PCB 廃棄物の適正な処分	5
し尿処理施設の統合化	6
古川浄化センターの耐震化	7
下水道重要幹線等の耐震化	8
避難所用マンホールトイレシステムの整備	9
下水道ストックマネジメント計画に基づく設備更新	10
公共下水道船津処理区の管渠施設整備	11
上水道高感度濁度計の設置	12
数河浄水場 Web 監視装置の整備	13
上水道施設の整備（改良・更新）	14
上水道石綿管の更新	15
上水道の布設替（下水道事業等関連）	16

継続 生物多様性の保全

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
5,373	県補助金	5,373	委託料	5,339
			需用費	34

（前年度予算 2,200 ）

2 事業背景・目的

全国的に特定外来生物の侵入及び繁殖による生態系への大きな影響が懸念される中、市では、繁殖が目立つ「オオキンケイギク」などの特定外来植物の防除を目的として、平成24年度に外来生物法に基づく「飛騨市防除実施計画」を策定しました。

現在、県の森林・環境基金事業補助金を活用し、特定外来植物の防除作業や啓発活動を実施しており、今後も引き続き、地域やボランティア団体等との協働による防除体制を強化し、生物多様性の保全対策を推進します。

3 事業概要

① 特定外来植物の防除（2,043千円）

市内で繁殖している特定外来植物3種（オオキンケイギク、オオハングンソウ、アレチウリ）の防除作業を、貴重な在来種が群生する天生・奥飛騨数河流葉の県立自然公園や市内の幹線道路沿い等において重点的に実施します。

② ボランティア活動への支援（34千円）

ボランティア団体等に対し、防除・処分方法等に関する事前座学や、現地での防除作業助言、道具の貸し出しなどの支援を行います。

③ 啓発活動の実施（ゼロ予算）

啓発チラシの配布等により、特定外来植物防除に対する市民の理解を深めます。

④ 特定外来植物分布調査の実施（3,296千円）

特定外来植物の分布調査を実施し、平成28年度に行った同調査と比較検証すること、事業効果の確認や今後の対策の検討を行います。

（款）	4 衛生費	（項）	1 保健衛生費	（目）	6 環境衛生費
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482			予算書	P.85

扩充

ごみ不法投棄対策の強化

1 事業費（単位：千円）

【財源内訳】

【主な使途】

1,227	雑入	728	委託料	1,132
	一般財源	499	需用費	95

(前年度予算 1,168)

2 事業背景・目的

市では、豊かな自然・生活環境を保全するため、定期的なパトロールの実施や監視カメラの設置により、ごみ不法投棄の早期発見と拡大防止に取り組んでいます。

しかしながら、投棄者の特定に結びつけることが困難な事例もあることから、警察や地域との連携を深め、監視力の更なる強化を図ります。

3 事業概要

①【新規】地域による不法投棄監視体制の強化（95千円）

過去に不法投棄が行われた箇所を表示したマップを作成し、市民にその現状を広く周知することで、市民一人ひとりの目による監視意識を高め、不法投棄が行われにくい地域づくりに取り組みます。

②【継続】不法投棄防止パトロールの実施（1,132千円）

定期的にパトロールを実施し、不法投棄の早期発見と投棄ごみの回収を行うことで、自然環境の保全や不法投棄の拡大防止を図ります。



(款) 4 衛生費		(項) 2 清掃費	(目) 1 清掃総務費	
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482		予算書	P.87

扩充

【財源内訳】

3,544

ふるさと創生基金

1,944

委託料

2,754

県補助金

1,600

使用料

397

その他

393

(前年度予算

2 事業背景・目的

市は、焼却施設の長寿命化や自然・生活環境負荷の低減を図るため、令和元年度より官民協働によるごみの減量化やリサイクルの推進に力を入れてきました。

令和２年度は、資源ごみ回収場所等の見直しや充実を図るとともに、エコイベントなどの新たな要素も取り入れることで、市民や事業者がより気軽に３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組んでいただける環境を整備します。

3 事業概要

①【新規】エコイベントの開催（198千円）

民間団体や事業所と連携し、ご家庭で不用になった衣類・雑貨などのまだ再利用できるものを集めたエコフリーマーケットを中心としたイベントを開催し、3Rの推進に向けた市民の意識啓発を図ります。

②【拡充】24時間資源回収ボックスの増設（2,297千円）

河合町及び宮川町において、資源回収ボックスを試験的に6ヶ月間設置し、利用状況を踏まえて常設化を検討します。

③【拡充】リサイクルポイント制度による衣類リサイクルの推進（351千円）

市役所及び各振興事務所において衣類の定期回収を実施します。また、障がい者支援事業所と連携して受付事務を実施し、障がいのある方の社会進出の促進を図ります。

④【継続】ごみゼロ月間の推進、人材の育成、資源ごみの出張回収など（698千円）

子どもキャラバン隊による市内飲食店等の訪問、地域での普及活動に取り組むエコサポーターの育成、事業所のごみゼロパートナー認定、食材使い切り料理教室の開催など、様々な場面でのごみの減量化に向けた意識啓発を図ります。また、各地域においてお出かけリサイクルセンターを定期的を開催し、資源ごみの回収等を行います。

(款) 4 衛生費		(項) 2 清掃費	(目) 1 清掃総務費	
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482		予算書	P. 86

新規 子育て・介護世帯等に対するおむつ用ごみ袋の支援

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
954	一般財源	954 需用費

（前年度予算 0 ）

2 事業背景・目的

小さなお子さんを育てている世帯、また高齢者や障がいのある方の介護のためにおむつを利用する世帯にとって、日々使用するおむつ代はもとより、その処分に必要なごみ袋の購入も大きな負担となっています。

このため、こうした世帯に対し、おむつ処分用のごみ袋を無料交付することで、経済的な負担の軽減を図ります。

3 事業概要

紙おむつの処分に役立てていただくため、1世帯あたり年間100袋のごみ袋（可燃ごみ袋・小サイズ）を無料交付します。

【対象世帯】

（子育て世帯）

- ・0～3歳未満の子供を養育している世帯

（介護世帯）

- ・在宅介護世帯（要介護認定者で常時おむつを使用している方）

（障がい者世帯）

- ・日常生活用具給付事業で紙おむつ支援を受けている方



【交付方法】

子育て世帯は新生児訪問、12ヶ月児・2歳児相談時、介護世帯はケアマネージャー訪問時、障がい者世帯は用具給付申請時にそれぞれ手交を予定しています。

（款）	4 衛生費	（項）	2 清掃費	（目）	2 じん芥処理費
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482			予算書	P. 88

継続 P C B 廃棄物の適正な処分

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
20,000	ふるさと創生基金 20,000	工事請負費 17,000 委託料 3,000

（前年度予算 2,200 ）

2 事業背景・目的

P C B（ポリ塩化ビフェニル）は、優れた科学的特性から照明器具の安定器などに幅広く利用されてきた主に油状の化学物質ですが、高い毒性があることから、昭和47年に国内での製造が中止され、平成13年にはP C B 廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（P C B 措置法）により、P C B 廃棄物を所有する事業者に対し、保管状況の届出と適正な処分が義務付けられました。

高濃度P C B 廃棄物の処理期限は令和3年3月までとされていますが、古い時期に整備された市有施設には未だP C B が含まれた照明器具等が多く存在する可能性が高いことから、令和元年度9月補正予算に調査費用を計上し、実態の把握を進めています。

令和2年度は、調査結果に基づき順次P C B 含有品の取り換えを行うとともに、適正な処分に向けた登録処理を行います。

3 事業概要

① P C B 含有安定器搬入荷姿登録支援業務（3,000千円）

市が保有する高濃度P C B 廃棄物を処理するため、処理先である中間貯蔵・環境安全事業（株）への搬入荷姿登録を行います。

② P C B 含有照明器具取替工事（17,000千円）

事前調査によりP C B の含有が確認された照明器具の取替工事を行います。



（款）	4 衛生費	（項）	2 清掃費	（目）	2 じん芥処理費
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482			予算書	P. 88

新規 し尿処理施設の統合化

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
9,900	負担金	3,004	委託料	9,900
	一般財源	6,896		

（前年度予算 0 ）

2 事業背景・目的

市内には2箇所のし尿処理施設が設置されていますが、いずれも老朽化が進行するとともに、下水道の普及や人口減少等の影響により搬入量（処理量）が減少している状況にあります。

このため、特に老朽化の著しい北吉城クリーンセンターをし尿の中継施設へと転換し、浄化・焼却といった処理機能をみずほクリーンセンターに統合することで、効率的な施設の運用を図ります。

【北吉城クリーンセンター】 処理能力：32kℓ/日、供用開始：平成8年度

設置場所：神岡町吉ヶ原 処理区域：神岡町、高山市上宝町・奥飛騨温泉郷

【みずほクリーンセンター】 処理能力：40kℓ/日、供用開始：平成15年度

設置場所：宮川町三川原 処理区域：古川町、河合町、宮川町、高山市国府町

3 事業概要

○ 施設の統合に向けた実施設計等（9,900千円）

- ・北吉城クリーンセンター改造工事実施設計
- ・施設統合にかかる各種条件整理、検討等
- ・今後のスケジュールは令和3年に改造工事、令和4年より中継施設としての運用開始を予定



北吉城クリーンセンター



みずほクリーンセンター

(款)	4 衛生費	(項)	2 清掃費	(目)	3 し尿処理費
所 属	環境水道部環境課 TEL0577-73-7482			予算書	P.89

継続 古川浄化センターの耐震化

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
90,000	国庫補助金 48,675 下水道事業債 41,300 一般財源 25	工事請負費 90,000
（前年度予算 24,400 ）		

2 事業背景・目的

各地で頻発する大規模な地震により、下水道施設についても被害が報告されており、全国的にライフラインの地震対策が喫緊の課題となっています。

市においても、平成7年度に供用開始された古川浄化センターの一部が現在の耐震基準を満たしていないことから、平成30年度に飛騨市下水道総合地震対策計画を策定し、耐震補強の実施に向けた設計を進めてきました。

令和2年度より耐震補強工事に着手し、地震に強い下水道施設の構築を推進します。

3 事業概要

古川浄化センター耐震補強工事

- ・対象施設 汚泥管理棟、主ポンプ棟、塩素混和池棟

※他の箇所は、令和3年度以降
順次耐震化を実施します。



会 計	公共下水道事業特別会計		
所 属	環境水道部水道課 TEL0577-73-7484	予算書	P. 117

新規 下水道重要幹線等の耐震化

1 事業費（単位：千円）

【財源内訳】

【主な使途】

12,920	国庫補助金	6,160	委託料	12,920
	下水道事業債	6,100		
	一般財源他	660		

（前年度予算 0 ）

2 事業背景・目的

各地で頻発する大規模な地震により、下水道施設についても被害が報告されており、全国的にライフラインの地震対策が喫緊の課題となっています。

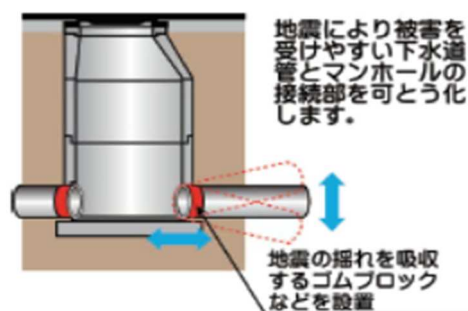
市では、平成30年度に策定した飛騨市下水道総合地震対策計画に基づき、古川処理区及び船津処理区の重要幹線管路（鉄筋コンクリート管 内径φ300～800mm 延長L=4,986m）を対象として、マンホールと管の接続部に可とう性を持たせることで耐震化を図り、地震に強い下水道施設の構築を推進します。

令和2年度は、工法の検討及び実施設計を行い、翌年度以降に耐震化工事を順次実施していきます。

3 事業概要

下水道重要幹線等の耐震化に向けた実施設計

L=4,986m（古川処理区 4,172m、船津処理区 814m）



会 計	公共下水道事業特別会計		
所 属	環境水道部水道課 TEL0577-73-7484	予算書	P.117

新規 避難所用マンホールトイレシステムの整備

1 事業費（単位：千円）

【財源内訳】

【主な使途】

11,340	国庫補助金	5,170	委託料	11,340
	下水道事業債	5,100		
	一般財源他	1,070		
(前年度予算 0)				

2 事業背景・目的

平成30年度に策定した飛騨市下水道総合地震対策計画では、災害発生時における避難所のトイレ不足対策として、マンホールトイレシステムの整備を盛り込んでいます。

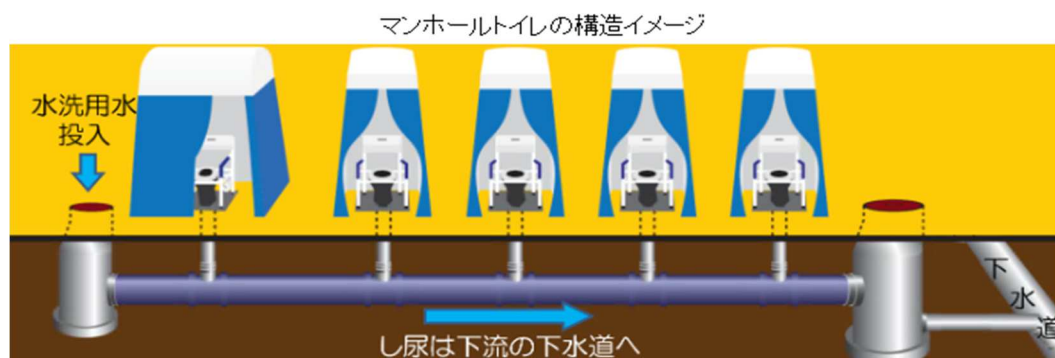
これは、想定される収容人数が大規模である避難所（学校、体育館等）を選定し、マンホールを利用した組立て式の屋外仮設トイレを整備することで、避難生活時のストレス要因となるトイレの混雑を緩和することを目的としています。

令和2年度は、マンホールトイレの種類及び配置等の詳細な設計を行い、翌年度以降に整備工事を順次実施していきます。

3 事業概要

マンホールトイレシステムの詳細設計

予定整備箇所数 10箇所（古川処理区5、船津処理区4、袖川処理区1）



会 計	公共下水道事業特別会計・特定環境保全公共下水道事業特別会計		
所 属	環境水道部水道課 TEL0577-73-7484	予算書	P.117・138

新規 下水道ストックマネジメント計画に基づく設備更新

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
12,660	国庫補助金	5,830	委託料	12,660
	一般財源	6,830		

（前年度予算 0 ）

2 事業背景・目的

飛騨市では、老朽化が進む下水道施設の保守点検や維持修繕を計画的に実施していくため、平成30年度に飛騨市下水道ストックマネジメント計画を策定しました。

この計画に基づき、対象施設の中では供用開始の早い古川浄化センターの設備を重点的に修繕及び更新をすることで、施設の寿命を延ばし、引き続き安全な施設運用に取り組めます。

令和2年度は、更新等の対象となる設備の実施設計を行い、次年度以降に順次更新工事を実施していきます。

3 事業概要

古川浄化センター計画対象設備更新に向けた実施設計

- ・ No.3 主ポンプ
- ・ No.1 汚泥貯留タンク攪拌ブロワ
- ・ その他計装設備等



会 計	公共下水道事業特別会計			
所 属	環境水道部水道課	TEL0577-73-7484	予算書	P.117

継続 公共下水道船津処理区の管渠施設整備

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
78,900	下水道事業債	41,500	工事請負費	72,000
	国庫補助金	25,000	補償費	4,800
	基金繰入金他	12,400	委託料	2,100
（前年度予算 70,166 ）				

2 事業背景・目的

飛騨市神岡町の公共下水道区域である船津処理区は、平成10年度に事業開始、平成17年度から供用を開始しており、昨年度までの全体整備率は91%となっています。

未整備箇所は梨ヶ根・寺林地区の一部となっていますが、国土交通省が行う国道41号の登坂車線整備工事との一体的な施工を行っていることから、効率的かつ早期に整備が完了するよう綿密な調整を図りながら事業を推進し、令和4年度の完成を目指します。

3 事業概要

- ・ 下水道管渠整備工事（梨ヶ根・寺林） L= 726m
- ・ 舗装本復旧（梨ヶ根・朝浦） A=2,710m²
- ・ 水道管移転補償費（寺林） 1式



会 計	公共下水道事業特別会計		
所 属	環境水道部水道課 TEL0577-73-7484	予算書	P. 117

繼續

継続 数河浄水場Web 監視装置の整備

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
5,364	補助金 1,273 一般財源 4,091	工事請負費 5,364

（前年度予算 5,416 ）

2 事業背景・目的

市では、安全で安心な水道水の供給のため、遠隔装置からのFAX送信や巡回により浄水場の状況を日々監視し、水量や水質の変動に応じた調整を行っていますが、季節や降雨状況によって水量の変動が大きい水源については、その監視や調整に多大な労力を要しています。

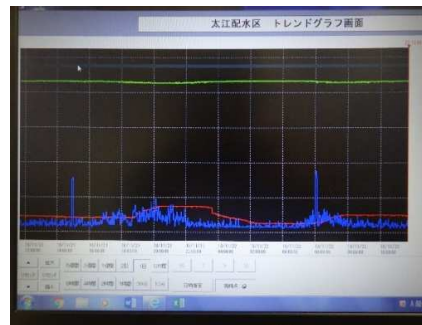
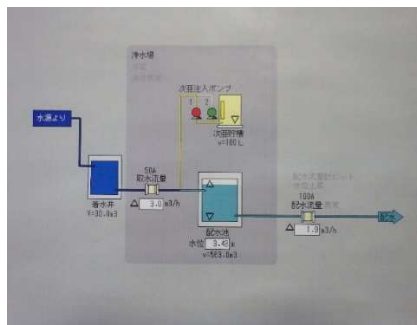
このため、これらの浄水場にWEB監視装置を導入し、リアルタイムで詳細なデータを把握しながら最適な運転管理を行います。併せて、スマートフォン等のモバイル端末による監視を行うことで、災害発生等の不測の事態に迅速な対応を図ります。

3 事業概要

平成30年7月の豪雨災害時に浄水場周辺の道路が被災し、一時的に現地での施設管理を行うことが困難となった古川町数河地区へ、Web監視装置を導入します。

なお、本事業は令和元年度の実施を予定していましたが、国庫補助金を活用し財政負担の軽減を図るため、令和2年度に改めて実施するものです。

- ・WEB監視装置設置工事（古川町数河地内） 1式



監視モニター

会 計	水道事業会計			
所 属	環境水道部水道課	TEL0577-73-7484	予算書	P. 247

継続 上水道施設の整備（改良・更新）

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
73,837	一般財源 73,837	工事請負費 63,687 委託料 10,150
（前年度予算 69,032 ）		

2 事業背景・目的

安全な飲み水を供給する水道施設を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは現世代の責務ですが、高度経済成長期等に急速に整備された水道施設は老朽化が進行し、同時に人口減少等に伴う給水人口の減少による収益の低下が懸念され、施設の計画的更新は水道事業者の最重要かつ喫緊の課題となっています。

こうした状況から、市では持続可能な水道の実現に向けて、中長期的財政収支に基づき今後50年間の施設更新等を計画し、適正に管理運営することを目的とする「飛騨市水道事業アセットマネジメント（資産管理）計画」を平成30年3月に策定しました。

今後も引き続き、本計画を前提としつつ、施設の劣化程度や財政の状況、市民の利便性の向上等も踏まえながら、効率的・計画的な資産管理に取り組みます。

3 事業概要

【取水量の安定化】

- ・定流量計弁取付工事（神岡町下之本内地内） N=1台

【給水量の安定化】

- ・杉崎～諏訪低区連絡管布設工事（古川町袈裟丸地内） L=410m

【設備の機能回復】

- ・滅菌設備更新工事（古川町末高、神岡町森茂、宮川町丸山地内） N=3式
- ・原水濁度計更新工事（神岡町梨ヶ根地内） N=1組

【老朽管路の更新】

- ・東雲地内配水管布設替工事（神岡町東雲地内） L=333m
- ・神岡大橋添架管詳細設計業務委託（神岡町釜崎、殿地内） 1式（L=100m）

会 計	水道事業会計		
所 属	環境水道部水道課 TEL0577-73-7484	予算書	P. 247

継続 **上水道石綿管の更新**

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
47,850	一般財源 47,850	工事請負費 47,850

（前年度予算 31,982 ）

2 事業背景・目的

昭和40年代まで水道管の主流であった石綿セメント管は、経年劣化により急速に耐圧性や強度が低下する性質があり、耐震性も低いことから現在では使用されなくなりました。

市内の水道施設においても一部に石綿管が布設されていることから、管の破損時に市民生活に与える影響が大きい幹線導水管を優先し、順次耐震性のある管材への更新を行います。

3 事業概要

東雲導水管布設替工事（神岡町東雲地内） L=447m

計画工期：令和元年度～3年度（令和2年度末予定進捗率：62%）



破損した石綿管（イメージ）

会 計	水道事業会計		
所 属	環境水道部水道課	TEL0577-73-7484	予算書 P. 247

継続 上水道の布設替（下水道事業等関連）

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】		【主な使途】	
33,266	負担金	4,800	工事請負費	27,260
	一般財源	28,466	委託料	6,006

（前年度予算 27,053 ）

2 事業背景・目的

下水道整備など関連する工事と合わせて老朽化した上水道管の布設替えを行うことで、効率的な施設更新を行います。

また、布設替えの際には耐久性・耐震性に優れた管材を使用し、水道水の安定供給と漏水等の予防による有収率の向上を図ります。

3 事業概要

【県道改良工事関連】

平岩地内配水管布設替設計業務委託（古川町平岩地内） L=1,200m

【下水道工事関連】

寺林地内配水管布設替工事（神岡町寺林地内） L=265m

【市道改良工事関連】

朝浦地内配水管布設替工事（神岡町朝浦地内） L=150m



会 計	水道事業会計		
所 属	環境水道部水道課 Tel0577-73-7484	予算書	P. 247